
ダイキン工業、中国でフッ素ゴムの生産を強化

Edited By LogisticsToday On 2011/07/20

ダイキン工業は19日、中国のフッ素化学製品の製造・販売子会社「大金フッ素化学（中国）有限公司」（江蘇省常熟市）の常熟工場に、フッ素ゴム「ダイエル」の生産設備を新設すると発表した。

2013年1月から量産を開始し、約30億円を投資する。生産設備の新設により、同社のフッ素ゴム生産体制は日本の淀川製作所（大阪府摂津市）、フランスのリヨン工場を合わせてグローバル3拠点体制となり、生産能力はこれまでに比べて約6割増加する。

ダイエルは長期間、圧力をかけても変形しにくく、耐熱性や耐油性に優れ、自動車のエンジンルーム、燃料系統、オイルシールなどの部品として使用すると、燃料・オイル漏れを防ぎ、長期にわたって環境負荷を低減する。

2010年の中国のフッ素ゴム市場は80億円で、15年には1.6倍となる130億円に拡大する見通しで、ダイキン工業では今回の生産設備の新設により、中国でのフッ素ゴムのシェアを現在の10%程度から15年にはトップシェアとなる30-40%へ引き上げ、事業の拡大を図る。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/17586>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.